

国語 I (Japanese I)		1年・通年・3単位・必修 機械工学科 担当 鍵本 有理, 勢田 勝郭 電気工学科 担当 鍵本 有理, 中西 潔 電子制御, 情報, 物質化学工学科 担当 鍵本 有理
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標 (3)〕	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕	〔JABEE 基準〕
〔講義の目的〕 国語には二つの面がある。一つは、文章を読んでその登場人物の気持ちや、書いてある内容に共感できるということ。これにはまず受講生一人一人が人間として「生きている」ということが必要である。そして、残念ながら自分の心の中で「わかった」と思っている人にも人には伝わらない。「こういう気持ちだ」「つまりこういうことだ」と、自分の言葉で表現できて、初めて「わかった」ということになる。この二つをふまえて、「考える」「読む」「書く」「話す」ことを目指す。		
〔講義の概要〕 高等学校第1学年に相当する国語の力を身につけるため、高等学校用の教科書を使用し、いろいろな文章を読んで様々な角度から物事を考える。また学生同士で「話し合う」、考えた内容をノートや文章に自分で「まとめる」ことにも重点をおく。 週3時間のうち、2時間を現代文、1時間を古典（古文・漢文）の時間に当てる。		
〔履修上の留意点〕 まず授業を「聞く」こと、「書く」こと。授業中の発問を自分で考え、その過程を残した「わかる」ノートを作る。人の発言を聞き、また自分が発言することも重要である。漢字や語句についての課題があれば必ずすませておく。配付されたプリントは各自でよく読んでおくこと。 古典については毎時間、予習をすること。教科書の本文を写し、大事な注なども写しておくことよい。そして、意味がわからないと思ったところを授業で集中して聞くようにするとよく理解できる。		
〔到達目標〕 前期中間試験： 1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける、2) 文章の構成がつかめる、3) 評論文や小説の主題を的確にとらえる、4) 古文を正確に音読できる、5) 古文の内容を現代語でまとめたり表現したりすることができる 前期末試験： 1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける、2) 文学作品や評論文の主題について理解し、話し合ったり自分の言葉でまとめたりすることができる、3) 近代短歌、文学史の知識を身につける、4) 古典文法の知識を身につける、5) 漢文訓読の知識を身につける 後期中間試験： 1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける、2) 現代詩を鑑賞し、表現などについて説明することができる、3) 評論文の主題をとらえる、4) 和歌についての基礎知識を身につける、5) 古文のテキストの意味を読みとり、説明することができる、6) 手紙の書き方を身につける 学年末試験： 1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける、2) 小説の登場人物の心情を読みとり、主題について考えることができる、3) 論理的な文章の要旨を把握することができる、4) 軍記物のおもしろさを味わい、内容を読みとることができる、5) 漢詩の内容を理解し、説明することができる		
〔評価方法〕 定期試験成績（65%）を基本とし、これに課題・古典のノート・「読書の記録」提出（20%）、授業中の音読・発表や作業への取り組み、漢字テスト（15%）を加えて総合的に評価を行う。		
〔教科書〕 「改訂版 国語総合」 第一学習社 〔補助教材・参考書〕 「新国語便覧」（新版初訂）第一学習社、「高校漢字必携」第一学習社、補助プリントなど		
〔関連科目・学習指針〕 国語は全ての科目の基礎といえる。歴史や哲学だけでなく英語の勉強や数学の論理的思考、各科目のレポート作成や勉強の仕方とも関連するので留意すること。		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己 評価*
第1週	授業の進め方、ガイダンス	本科目の概要・目的を理解する。予習やノートの取り方についての説明。	
第2週	評論「独創を生む条件」① 「児(ちご)のそら寝」	評論文を読み、論旨を的確にとらえる。 「児のそら寝」を読み、古典の文体に親しむ。	
第3週	評論「独創を生む条件」② 「竹取物語」①	文章の構成に注意しながら評論文を読む。 「かぐや姫の生ひ立ち」を読み、内容を読みとる。	
第4週	小説「羅生門」① 「竹取物語」②	小説「羅生門」を読み、主人公のおかれた状況を理解する。作者について知る。 「かぐや姫の生ひ立ち」を読み、内容を読みとる。	
第5週	小説「羅生門」② 「竹取物語」③	表現に注意しながら主人公の心情を読みとる。 「かぐや姫の嘆き」を読み、主人公の心情を読みとる。	
第6週	小説「羅生門」③ 「竹取物語」④	表現に注意しながら各登場人物の心情を的確にとらえる。 「かぐや姫の嘆き」を読み、物語の状況を読みとる。	
第7週	小説「羅生門」④ 「竹取物語」⑤	小説全体の構成や主題を確かめる。 「竹取物語」について、主題をまとめる。	
第8週	前期中間試験解説・スピーチ準備 前期中間試験解説/古典文法①	教科書p172～174を参考に、「物」に関するスピーチの準備をする。 古典文法の知識を身につける(品詞など)。	
第9週	スピーチ① 古典文法②	クラスで各自がスピーチをし、また他の人のスピーチに対する評価をする。 古典文法の知識を身につける(動詞の活用など)。	
第10週	スピーチ② 古典文法③	クラスで各自がスピーチをし、また他の人のスピーチに対する評価をする。 古典文法の知識を身につける(形容詞・形容動詞の活用など)。	
第11週	評論「ものとことば」 古典文法④	ことばに関する評論文を読み、ことばとは何か考える。 古典文法の知識を身につける(助動詞の活用など)。	
第12週	評論「ものとことば」 古典文法⑤	ことばに関する評論文を読み、筆者の主張を読み取る。夏休みの課題説明。 古典文法の知識を身につける(助動詞、注意すべき表現など)。	
第13週	課題テスト/短歌を読む① 漢文入門①訓読の基本	近代短歌について、グループで読解作業を行い、短歌に親しむ。 漢文訓読の基本的な知識について確認する。	
第14週	短歌を読む② 漢文入門②再読文字・置き字	文学史の知識を身につける。近代短歌に親しむ。 漢文の格言を読み、漢文の訓読に慣れる。	
第15週	短歌を読む③ 漢文「守株」	文学史の知識を身につける。近代短歌に親しむ。 「守株」を読み、おもしろさを理解する。	
前期期末試験			
第16週	試験解説/文章を要約する 試験解説/「伊勢物語」①	文章の要約の仕方について学ぶ。 「伊勢物語」の文学史的な知識を身につける。	
第17週	評論「『間』の感覚」① 「伊勢物語」②	評論を読み、西欧と日本の文化の違いを理解する。 「芥川」の章段を読み、内容を理解する。	
第18週	手紙の書き方(礼状を書く) 「伊勢物語」③	秋季社会工場見学先への礼状を作成し、手紙の形式や用語を身につける。 「東下り」の章段を読み、和歌の技巧について学ぶ。	
第19週	評論「『間』の感覚」② 「伊勢物語」④	評論を読み、全体の構成や筆者の主張を理解する。 「東下り」の章段を読み、当時の人々の生活や旅について理解する。	
第20週	評論「『間』の感覚」③ 「伊勢物語」⑤	評論を読み、論旨を理解する。 「東下り」の章段を読み、登場人物の心情を読みとる。	
第21週	詩を読む①話し合い 「伊勢物語」⑥	教科書に載っている詩を読み、自分の好きな詩について考え、話し合う。 「筒井筒」の章段を読み、登場人物の心情を読みとる。	
第22週	詩を読む② 「伊勢物語」⑦	三好達治・中原中也・田村隆一・吉野弘について知る。 「筒井筒」の章段と、『大和物語』とを読み比べ、登場人物の気持ちをを読みとる。	
第23週	詩を読む③ 「徒然草」	三好達治・中原中也・田村隆一・吉野弘の詩について、鑑賞しまとめる。 「徒然草」の序段、また八十九段を読んで、この随筆の面白さを味わう。	
第24週	試験解説/志賀直哉について 試験解説/漢詩①	「城の崎にて」の作者、志賀直哉について知る。 「春暁」「江雪」「江南春」を読み、漢詩の知識を身につける。	
第25週	聞き取りテスト/百人一首 漢詩②	聞き取りの練習をする。百人一首に親しむ。 「送元二使安西」「春望」を読み、それぞれの詩に込められた思いを読みとる。	
第26週	小説「城の崎にて」① 「平家物語」①	小説を読み、主人公の心情を的確にとらえる。 「平家物語」の文学史的な知識を身につける。「祇園精舎」を読む。	
第27週	小説「城の崎にて」② 「平家物語」②	小説を読み、表現に注意しながら人物の心情を的確にとらえる。 「木曾の最期」を読み、軍記物の文体を味わう。装束描写について理解する。	
第28週	小説「城の崎にて」③ 「平家物語」③	小説全体の構成や主題を確かめる。 「木曾の最期」を読み、主人公のおかれた状況を理解する。	
第29週	評論「世界中がハンバーガー」① 「平家物語」④	評論を読み、全体の構成や筆者の主張を理解する。 「木曾の最期」を読み、登場人物の心情を読みとる。	
第30週	評論「世界中がハンバーガー」② 「平家物語」⑤	評論文の論旨を読みとり、現代社会の問題について考える。 「木曾の最期」を読み、当時の社会や登場人物の心情について理解する。	
学年末試験			

* 4：完全に理解した，3：ほぼ理解した，2：やや理解できた，1：ほとんど理解できなかった，0：まったく理解できなかった。